



簡易マニュアル

はじめに

本文書のご利用にあたって

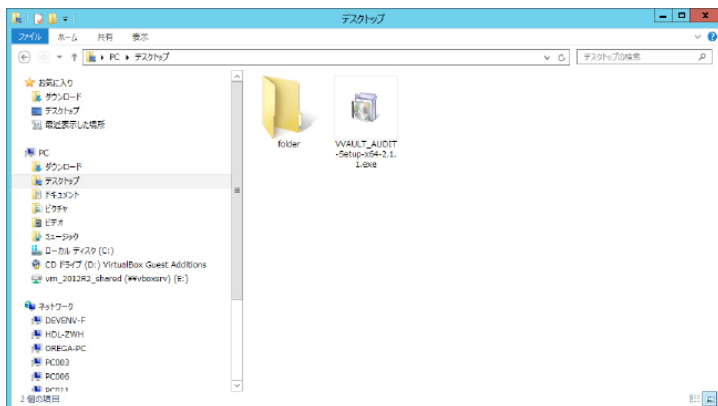
- 本文書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き禁止されています。
- 本文書で使用している情報及び画像は本文書執筆時点のもので、最新版の製品および製品サイトと文言やデザイン等が異なる場合があります。
- 本文書内の社名、製品名は各社の商標又は登録商標です。

1	インストール	4
2	ログイン	8
3	ライセンスの登録	9
4	レポートメールの設定	12
5	データ管理設定	14

1 インストール

STEP-1

本製品の最新版のインストーラーを実行します。

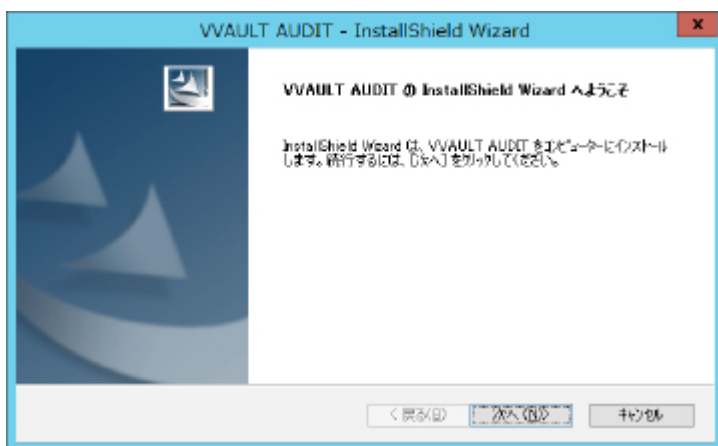


⚠️ ご注意

UACが有効の場合、インストーラーは管理者権限で実行してください。またドメインメンバーのコンピューターにインストールする場合は、ローカルの管理者アカウントでログインしてから実行してください。

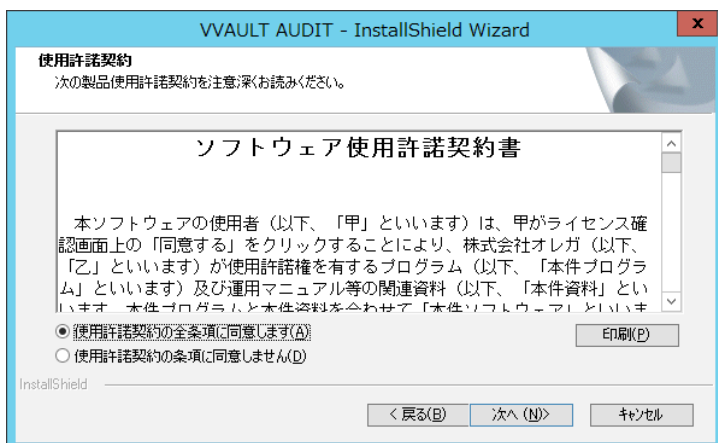
STEP-2

インストーラーのウィザード開始画面にて「次へ」ボタンをクリックします。



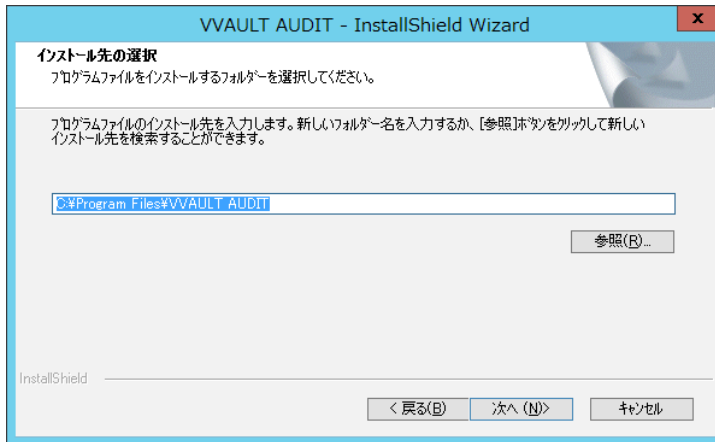
STEP-3

使用許諾契約を確認後、「使用許諾契約の全条項に同意します(A)」を選択し「次へ」ボタンをクリックします。



STEP-4

プログラムのインストール先を指定し「次へ」ボタンをクリックします。

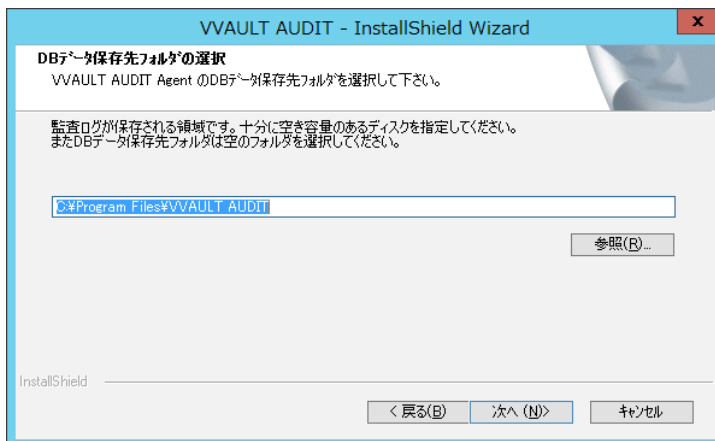


ワンポイント

ここではDB登録前の監査ログデータが一時ファイルとして生成されます。これらのファイルはDB登録後に順次削除されていきますが、念のため十分に空き容量のあるディスクを指定してください。

STEP-5

DBデータ保存先フォルダのパスを入力し「次へ」ボタンをクリックします。



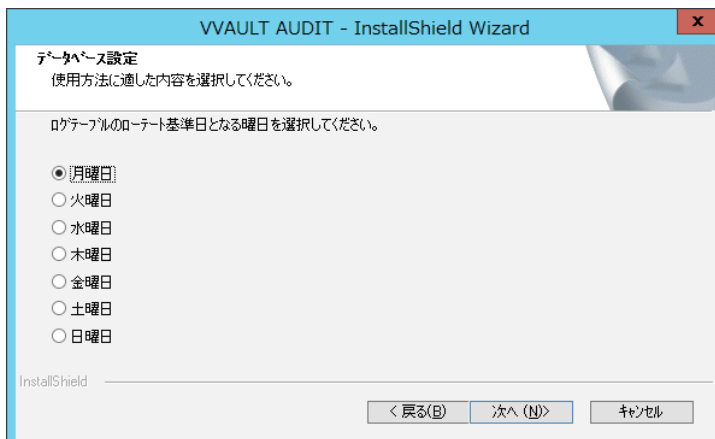
ワンポイント

過去に利用していたDBデータ(同一バージョンのみ)を指定して再利用することも可能です。

なお、DBのサイズは監査ログを保存する期間によって変動しますので、十分に空き容量のあるディスクを指定してください。データの量の目安については「インストールマニュアル」>「1-1インストール前の準備」>「データの保存先について」を参照してください。

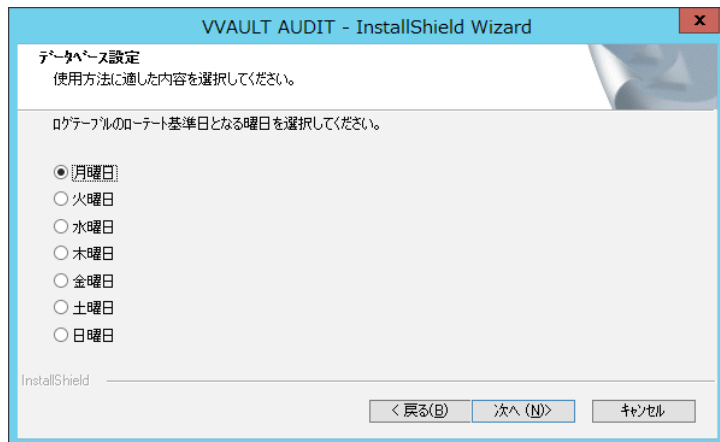
STEP-6

データベースに保存されるテーブルデータの区切りの基準日を選択し「次へ」ボタンをクリックします。



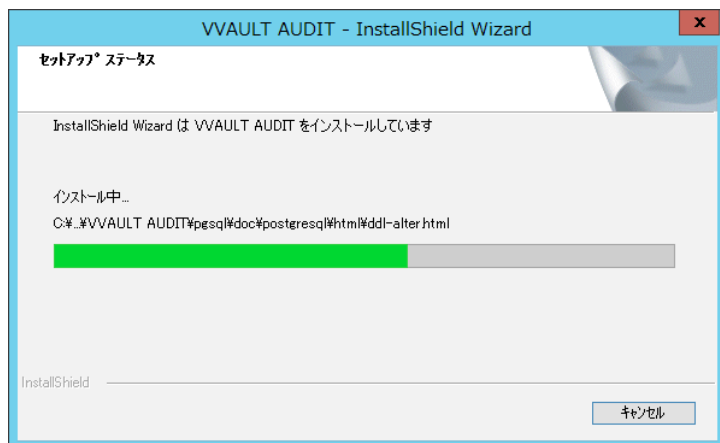
STEP-7

「インストール」ボタンをクリックします。



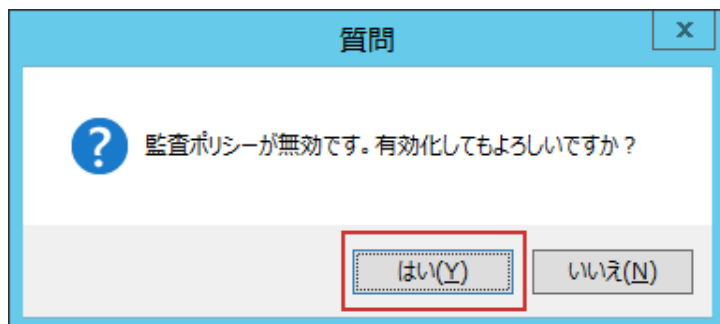
STEP-8

インストールが開始されます。



STEP-9

Windowsの監査設定が有効でない場合、以下のダイアログが表示されます。「はい」をクリックしてください。

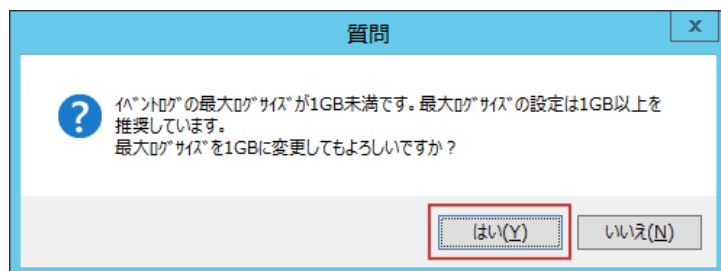


ワンポイント

本製品を使用するにはWindowsの監査設定を有効にする必要があります。手動で設定する場合は、「インストールマニュアル」>「1-1 インストール前の準備」>「Windowsの監査設定について」を参照してください。

STEP-10

イベントログの最大サイズ設定が1GB未満の場合、以下のダイアログが表示されます。「はい」をクリックしてください。

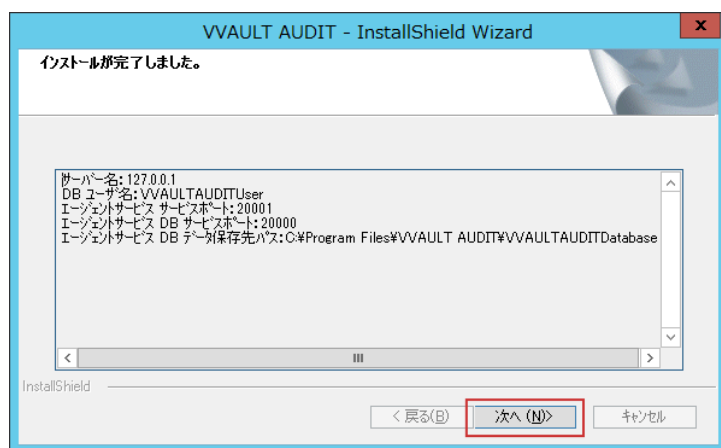


ワンポイント

イベントログの設定についての詳細は、「インストールマニュアル」>「1-1 インストール前の準備」>「Windows イベントログ設定について」を参照してください。

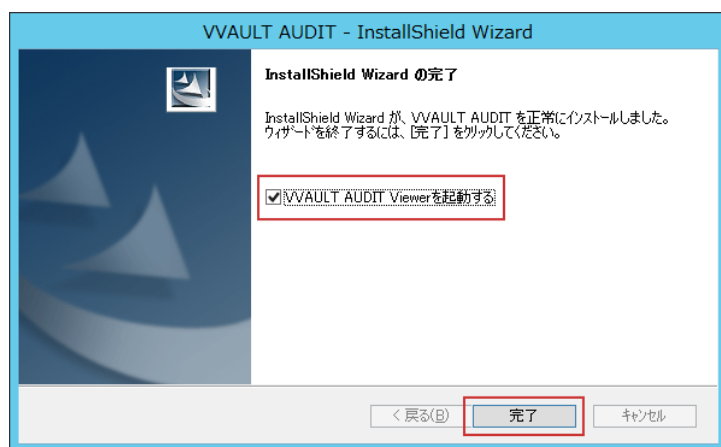
STEP-11

各種設定状況が表示されるので「次へ」ボタンをクリックします。



STEP-12

「VVAULT AUDIT Viewerを起動する」にチェックを入れ、「完了」ボタンをクリックします。

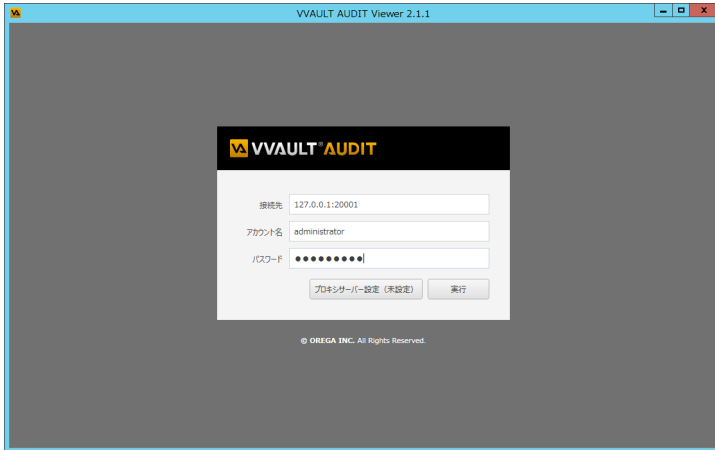


2

ログイン

STEP-1

VVAULT AUDIT Viewerのログイン画面にてOSのAdministratorsグループに存在するアカウント名とパスワードを入力し、「実行」ボタンをクリックします。



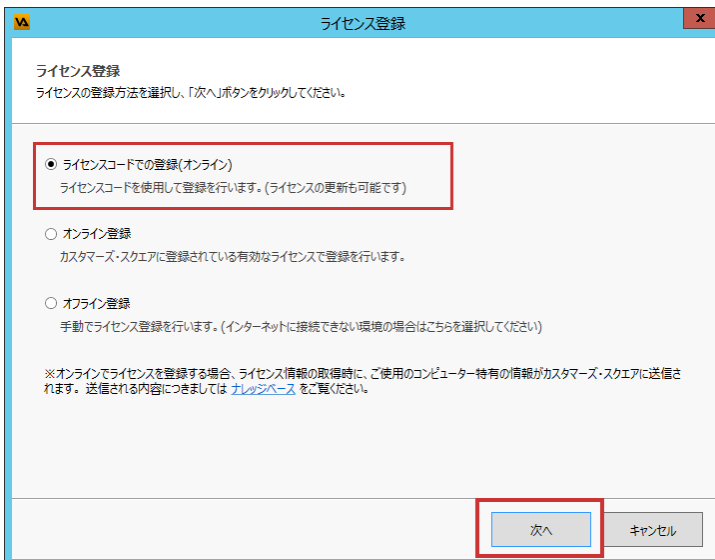
STEP-1

ダッシュボード > システム設定 > ライセンス情報 > 「ライセンス登録」ボタンをクリックします。



STEP-2

「ライセンスコードでの登録 (オンライン)」を選択し、「次へ」をクリックします。



STEP-3

カスタマーズ・スクエア (<https://vvault.jp/customers/>) のログインID・パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

ライセンスコードでの登録 ステップ(1)
オンラインでライセンスを発行するためカスタマーズ・スクエアに接続します。
アカウント情報を入力し、ログインボタンをクリックしてください。
※送信データは暗号化されます。

カスタマーズ・スクエア

*ログインID : admin@xxxxaudit.co.jp

*パスワード : ●●●●●●●●

ログインID・パスワードが不明な方はこちらから
[アカウント新規登録](#) [パスワード再発行](#)

ログイン キャンセル

STEP-4

ライセンスコードを入力し、「登録」ボタンをクリックします。

ライセンスコードでの登録 ステップ(2)
ライセンスコードを入力し、登録ボタンをクリックしてください。

*ライセンスコード :

登録 キャンセル

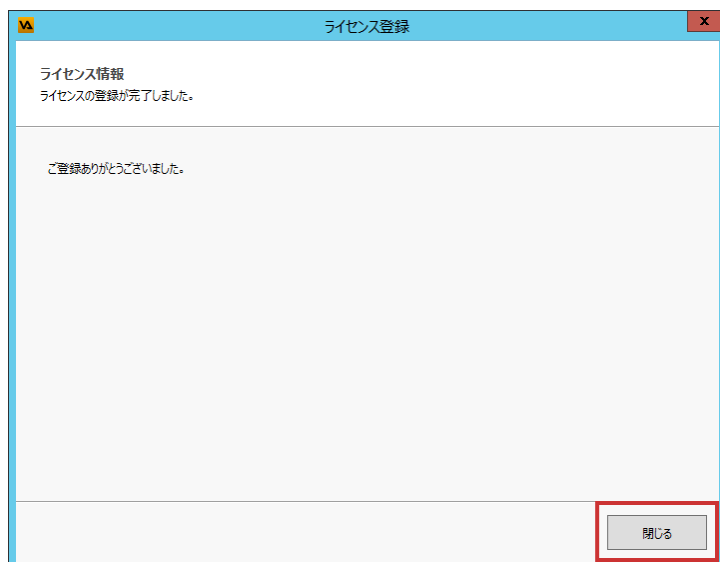
STEP-5

登録内容を確認し、問題がなければ「登録」ボタンをクリックします。



STEP-6

正常にライセンスの登録が完了した場合は、以下のようなメッセージが表示されます。「閉じる」ボタンをクリックすると、登録したライセンス情報がシステム設定画面に反映されます。

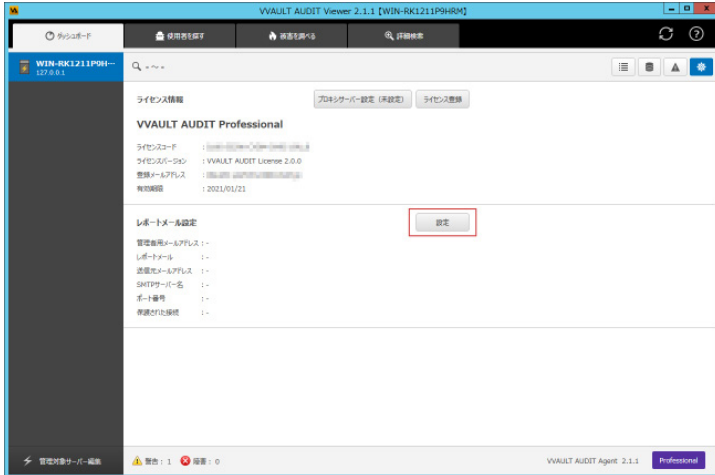


4

レポートメールの設定

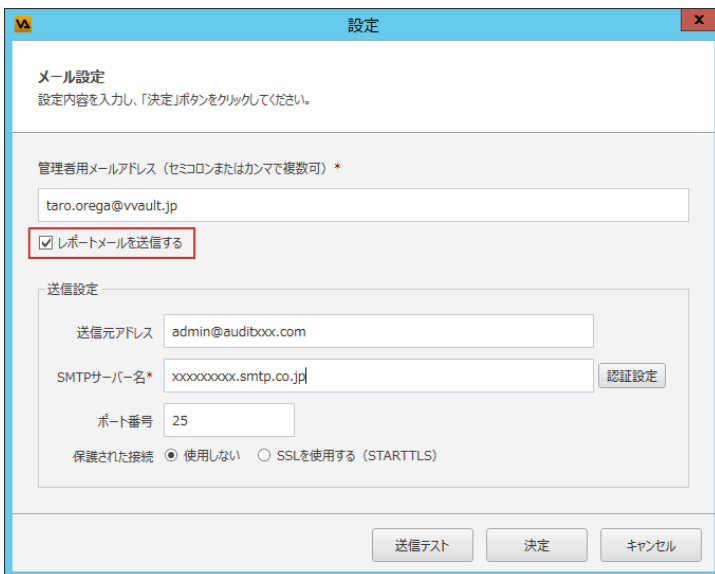
STEP-1

ダッシュボード > システム設定 > レポートメール設定 > 「設定」ボタンをクリックします。



STEP-2

「レポートメールを送信する」にチェックを入れ、管理者メールアドレス、送信設定に必要な情報を入力します。



STEP-3

「送信テスト」ボタンをクリックし、テストメールが送信されることを確認します。



設定

メール設定
設定内容を入力し、「決定」ボタンをクリックしてください。

管理者用メールアドレス（セミコロンまたはカンマで複数可）*

taro.orega@vvault.jp

レポートメールを送信する

送信設定

送信元アドレス admin@audibox.com

SMTPサーバー名* xxxxxxxx.smtp.co.jp

ポート番号 25

保護された接続 使用しない SSLを使用する (STARTTLS)

STEP-4

「決定」ボタンをクリックします。



設定

メール設定
設定内容を入力し、「決定」ボタンをクリックしてください。

管理者用メールアドレス（セミコロンまたはカンマで複数可）*

taro.orega@vvault.jp

レポートメールを送信する

送信設定

送信元アドレス admin@audibox.com

SMTPサーバー名* xxxxxxxx.smtp.co.jp

ポート番号 25

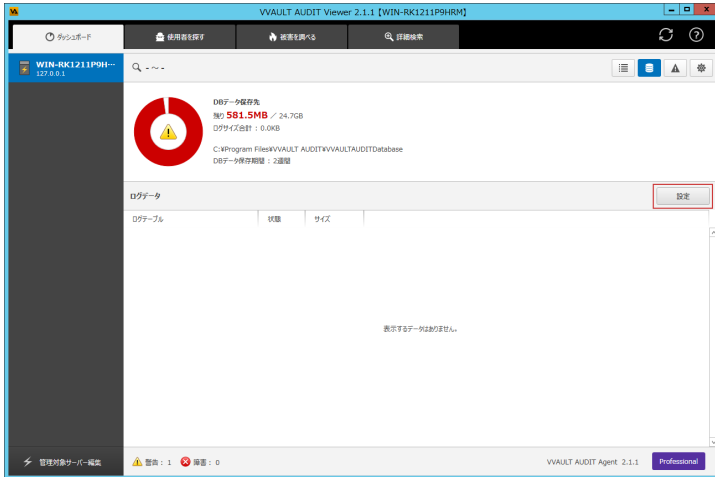
保護された接続 使用しない SSLを使用する (STARTTLS)

5

データ管理設定

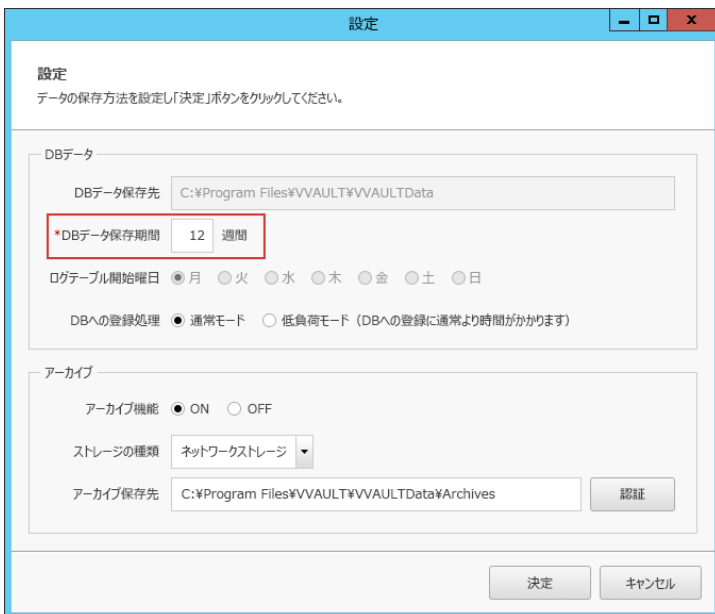
STEP-1

ダッシュボード > データ管理 > ログデータ > 「設定」ボタンをクリックします。



STEP-2

任意のDBデータ保存期間を入力します。



STEP-3

必要に応じてアーカイブ機能をONにし、アーカイブ保存先フォルダのパスを入力します。

設定

データの保存方法を設定し「決定」ボタンをクリックしてください。

DBデータ

DBデータ保存先 C:\Program Files\VVAULT\VVAULTData

*DBデータ保存期間 12 週間

ロギング開始曜日 月 火 水 木 金 土 日

DBへの登録処理 通常モード 低負荷モード (DBへの登録に通常より時間がかかります)

アーカイブ

アーカイブ機能 ON OFF

ストレージの種類 ネットワークストレージ

アーカイブ保存先 C:\Program Files\VVAULT\VVAULTData\Archives 認証

決定 キャンセル

STEP-4

「決定ボタン」をクリックします。

設定

データの保存方法を設定し「決定」ボタンをクリックしてください。

DBデータ

DBデータ保存先 C:\Program Files\VVAULT\VVAULTData

*DBデータ保存期間 12 週間

ロギング開始曜日 月 火 水 木 金 土 日

DBへの登録処理 通常モード 低負荷モード (DBへの登録に通常より時間がかかります)

アーカイブ

アーカイブ機能 ON OFF

ストレージの種類 ネットワークストレージ

アーカイブ保存先 C:\Program Files\VVAULT\VVAULTData\Archives 認証

決定 キャンセル



株式会社オレガ

東京都新宿区山吹町 347 藤和江戸川橋ビル 6F
<http://www.orega.co.jp/>